

管理番号 75

研究内容の説明文

献血者説明用課題名 (括弧内は公募申請課題名)	ナチュラルキラー細胞を用いた血液がんの新しい治療法の開発 (ナチュラルキラー細胞を用いた造血器悪性腫瘍に対する免疫療法の研究開発)
研究開発期間（西暦）	2025年4月～2030年3月
研究機関名	愛知県がんセンター
研究責任者職氏名	分野長 鍋倉 宰

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等^{※2}

愛知県がんセンター研究所腫瘍免疫応答研究分野では、免疫細胞の一つであるナチュラルキラー（NK）細胞を用いた新しい免疫療法を開発するため、研究を実施しています。白血病やリンパ腫など血液のがん細胞に対するNK細胞の機能を解析し、より良い治療法を開発する研究には、血液が必要であり、健常者の血液も必要であり、献血いただいた血液の一部を使用させていただきたいと考えています。得られた研究成果によって、将来の新しいがんの治療法の開発に繋がる可能性があります。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：全血（規格外）

献血血液の情報：なし（ただし、個人を特定できる情報は切り離す）

3 共同研究機関及び研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 献血血液の利用を開始する予定日

2025年7月1日

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》^{※2}

献血血液から、NK細胞を含む免疫細胞を集めた後、必要に応じて凍結保存します。採取した免疫細胞からNK細胞を取り出します。得られたNK細胞を薬剤で処理したり、遺伝子改変を施したりする事で、がん細胞を見つける能力や、がん細胞に対する攻撃力を強化したNK細胞を調整します。実際にこれらのNK細胞が、白血病細胞やリンパ腫細胞などのがん細胞をどのくらいの効率で攻撃して排除できるかを評価します。この時、NK細胞から核酸やタンパク質を採取し、機能を解析するのに用います。更に必要に応じて、様々な遺伝子の発現、タンパク質の量、遺伝子発現を調節するゲノム領域の変化を解析します。個人を特定するような解析は行いません。

6 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

7 上記6を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R070012

本研究に関する問い合わせ先

所属	愛知県がんセンター研究所腫瘍免疫応答研究分野
担当者	鍋倉 宰
電話	052-762-6111
Mail	t.nabekura@aichi-cc.jp